

大門坂

7月号 月田小学校だより

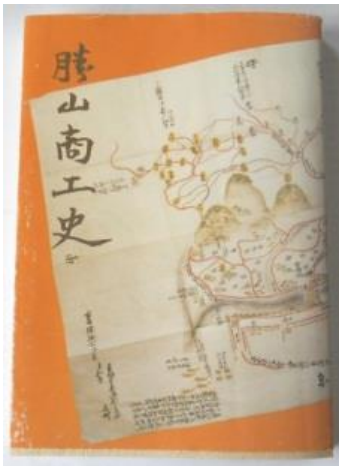
平成 29 年 7 月 7 日（金）校長 小林幸雄

月田小社会科クラブ調査

～ふるさとを愛する子に～

月田の歴史を語る上で、貴重な文献があります。それは、『勝山商工史』（勝山商工会）です。著者は、富岡篤雄^{あつお}氏、新聞記者という経歴のある方で、10年もの歳月をかけて書かれた労作です。

幸運にもこの文献を、元月田奨学会長・堀



正則様からお借りしました。

特に私の目を引いたのは、「月田の経済圏の成り立ち」です。

月田には、昔から勝山の町家と肩を並べるほどに多くの業種が揃っていました。城下町では、当たり前のことですが、月

田は農村部です。なぜ、月田に独特の経済圏が成り立ったのでしょうか。その理由を端的に言えば、当時の道路事情と月田の位置する地形の利がその所以だと記されています。詳しくは、本書をぜひご覧ください。

さて、先の項で、驚くことに月田小の子どもたちの調査が引用されています。

「活躍する月田馬」…月田馬は、明治の初期は5頭ほどで、村の共同機関として利用されていたが、明治中期には…合計15頭余りになり、(略)月田の商取引の中樞を握る迄に発達した。(昭和34年月田小学校社会科クラブ調査『月田の林業』について参考)

月田小の子どもたちの調査を参考にして述べているのです。156頁には「月田小学校社

会科クラブの調査」という項が特別に起こされています。この調査の指導は、斎藤伸英先生です。斎藤先生は、その後、中学から高等学校へと栄転された先生だそうです。

しかも、157頁では、「特に木材業の発展の内容などは、注目すべきものがある」と社会科クラブの調査を高く評価されています。

このように、勝山の歴史を扱った貴重な文献に引用されるほどの調査です。これが小学生による調査なのですから驚きです。

月田の民話と同様、素晴らしい先人の偉業です。

その当時、保護者の協力を得ながら一つの商店に一人の児童を割り当て、聞き取り調査をしたそうです。

もし、聞き取りをして活字になっていなければ、とっくに消えてしまっていた月田の歴史です。

月田小の先輩たちが行ったように、ふるさとを愛する一歩は、月田のことを知ることにあるのではないのでしょうか。

月田民話版画集その2

～後輩が紙芝居にして蘇らせた～

先月号で月田民話版画集について触れたところ、有り難いことに貴重な品が届けられました。

その一つは、平成8年2月11日(日)付けの讀賣新聞の記事(竹島行夫様より)です。

かつて月田小の先輩が再話した月田の民話を、その30年後、後輩が紙芝居にして月田の民話を蘇られたという記事です。

この記事は、20年ほど前のことです。児童35人が制作に励んだと記されています。発表の舞台は、月田コミュニティの集いでした。中には、竹島さん親子のように、偶然に

も2世代に渡って携わった家庭もあったそうです。これも極めて珍しいことであります。

もう一つは、当時作成された初版『民話版画集』の実物（宮島啓人先生より）です。



これを手にして私は、正直感動しました。

歴史の重みを感じる代物です。

当時の印刷といえは、やすりの盤の上に薄い口ウ原紙を乗せ、一文字ずつ鉄筆

でガリを切らなければなりません。このような経験があるのは、もはや私の年代が最後でしょうか。

版画は、一枚ずつ手刷りしたものを直接台紙に貼り付けられています。版画のある頁には、いちいち薄紙が挟まれ、版画のインクが隣の頁に写らないような配慮がされています。

いかに子どもたちが苦勞しながら、一致協力して作業をしたか、まさに目に浮かぶようです。

後日、月田の民話を元にして、子どもたちが芝居を演じたり、大人が月田コミュニティで演じたりしことがあると、前田栄さんからお聞きしました。

活字にして残されていたからこそ成し得たことです。いつの日か、さらに後の後輩が、月田の民話に触れ、再び現代に蘇らせることが出来れば素敵なことだと思います。

保健集会をしました

23日（金）保健集会をしました。「健康な体について、よい姿勢について知ろう！」ということをめあてに、保健委員が中心になって企画・運営をしてくださいました。各学年では事前に「ロコモチェック」をしました。ロコモとは、年齢とともに足腰が衰えて移動機能が低下し、進行すると寝たきりになるリスクが高い状態を意味します。近年、生活習慣の変化で、体が硬い、バランスが悪い、体の動

かし方がわからないといった子ども達が増えているようです。健康な体のため、適度な運動や健康な食生活、きちんとした生活習慣に気をつけていきたいものです。（教頭・杉山 昇）



＜足腰を鍛える四つん這いリレー＞

図書委員会による読み聞かせ

26日（月）朝自習の時間、図書委員の読み聞かせが音楽室でありました。図書委員の6人が手分けをして「100円たんけん」という本を読んでもくれました。子ども達も楽しそうにお話を聞いていました。（教頭・杉山 昇）



＜楽しく絵本を聞き入る子どもたち＞

8月行事予定

1日（火）美作地区学童水泳記録会（柵原中プール）

6日（日）～8日（火）5年山の学習・津黒高原

■ 月田奨学会プール開放日

7月20日（木）～8月10日（木）（※土日を除く）

13日（日）～15日（火）学校閉庁日

29日（火）2学期始業式／短縮④／給食開始／

身体測定（低）／一斉下校

31日（木）月田奨学会運営委員会 19:00